

占い蓮

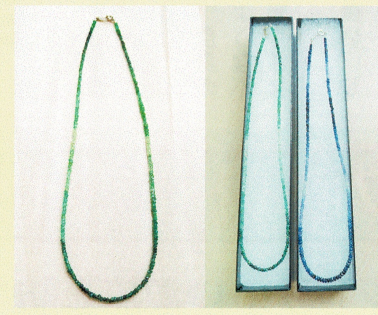
2026年夏号 占い蓮 会報 vol.42 2026年6月発行 占い蓮 (関東現代易占学研究会) 日本略導流加持祈禱神霊学会本部 WHEEL of FORTUNE REN 株式会社 〒167-0053 東京都杉並区西荻南3-10-6 西荻スカイビル5F TEL: 03-5941-5921 FAX: 03-5941-5926 【ホームページ】 <https://uranai-ren.com> [e-mail] info@uranai-ren.com

占い蓮アンケート 締め切り 7月31日(金) 23:59

会報の感想、占い蓮へのご意見などをお寄せいただいた中から抽選で占い蓮からの特別なプレゼントを差し上げます。

アンケート

会報をご覧になった感想、要望、ご不満、今後取り上げてほしい内容に関してご自由にお書きください。



プレゼント

天然石エメラルドのネックレス 1名様
天然石サファイアのネックレス 1名様

エメラルドやサファイアは古くから強い魔除けの力を持つ石として信じられてきました。濃淡のあるグリーンとブルーが織りなす美しいグラデーションが、首元に上品な彩りを添えます。落ち着いた輝きが魅力の、大人のためのネックレスです。

応募方法

アンケートの回答と希望のプレゼント、氏名、年齢、性別、電話番号をご記入いただき、下記の宛先までお送りください。
※厳正な抽選のうえ、当選者を決定します。当選者の発表については、蓮からの連絡をもって代えさせていただきます。

宛先：右記 QR コードから申し込み、またはメールアドレスにご送付を。
【e-mail】 info@uranai-ren.com



雑誌に掲載されました

国民的オカルト雑誌「月刊ムー」5月号に、占い蓮・中村皓導最高顧問相談役を特集した記事が掲載されました。同誌6月号「辛酸なめ子の魂活巡業」に祈禱坐禅会が取り上げられました。

西荻窪で心がスッと軽くなる体験を

西荻窪の占い蓮・祈禱道場では毎月第2月曜・第4土曜日に祈禱坐禅会を開催しています。
椅子坐禅、ゆったりとした服装でご参加いただけます。
ご自身と静かに向き合う時間を、どうぞ一緒に。

祈禱坐禅 13:30~14:30

祈禱師 中村皓導／中村妙恭

持ち物 動きやすい服装、数珠(数珠レンタル300円)

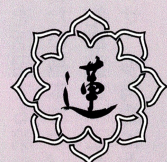
参加費 中村皓導／中村妙恭 4400円(会員3300円)

蓮の会 年会費5000円

- ・占い蓮の一部商品が会員限定価格で購入できる
- ・坐禅会を含む蓮主催イベントに会員限定価格で参加できる

開催場所 祈禱道場 占い蓮 東京都杉並区西荻南3-10-6

申し込み・問い合わせ 占い蓮 03-5941-5921
11:00~19:00 火・水曜定休



占い蓮

2026年夏号
占い蓮 会報 vol.42



中村皓導先生のお言葉

研鑽に終わりなし
なんでも知っていると
傲慢になつてはいけない
僕は死ぬまで勉強だと思っている



最高顧問相談役 中村皓導

生涯勉強。この言葉が85歳の中村先生から伺うと、その響きには計り知れない重みが宿ります。先生は私たち鑑定師に、常々こう説かれます。「鑑定の最中であつてもお客さまから学ぶことがある。多くの出会いを通じ、学ばせてもらいなさい」と。振り返れば、先生から「ズバリ当てなさい」とか「教えた通りに話しなさい」といった技術的な強制をされたことは一度もありません。

先生が示してくださるのは、常に「学び続ける姿勢」そのものです。鑑定において真に意識すべきは、知識の披露ではなく、目の前の方から何を学び、どう成長するか。その謙虚な心構えにあるのでしょう。まだまだ勉強。占いの道は奥が深く、学び、磨かなければならない知識や技術は膨大です。偉大な背中を見つめ、私自身も日々精進を重ねてまいります。

記事 中村妙恭

中村皓導先生のお誕生日を祝う会

2026年3月23日、中村皓導先生85歳のお誕生日パーティーが開催され、私もサポートスタッフとして参加させていただきました。会場は生バンドで歌えるBANDIEESさん。平日にもかかわらず約20名の弟子が集まり、温かな祝福の時間となりました。

先生はこれまで何度も癌を経験され、現在もご病気と向き合いながら、多くの方々へ救いの手を差し伸べ続けておられます。出会ってから12年時にはご自身の身を投げ打ってでも人を救おうとされるそのお姿に、深い尊敬の念を抱いてきました。当日は、生バンドの演奏とともに力強い歌声も披露してくださり、会場は大きな拍手に包まれました。

また、余興の「中村先生クイズ」では「初恋の女の子は？」A同じ年B年上、C年下の3択で、正解は「年



中村皓導の青年時代(4)

直弟子 鈴木蓮導

仏教界の高僧でキリスト教にも造詣が深い稀代の祈禱師・中村皓導。知られざる若き青年時代のエピソードをお届けします。

中村皓導先生の青年時代には、後の人生を象徴するような大きな夢がありました。それは大きな船の船長となり、世界中を巡ることでした。青森県八戸市のご出身で、八戸港の近くで育った先生は、海を眺めなが



上だったり、占い蓮の中で好きな場所「会長室」「教室」「お仏壇前」の中は意外にも「お教室」が正解だったりと、難易度が高い(?)ながらも正解数上位3名が選ばれました。ゲーム上位者には特別に先生がタロットを引いてくださり、3名すべてに「運命の輪」が現れました。

「運命の輪」はご縁を象徴するカードでもあり、この日この場所にご縁ある方々が集えたことの意味を感じる、印象深い出来事となりました。師匠から学んだ「人のために尽くす姿勢」は、私の看護師としての仕事にも、占い師としての在り方にも大きな指針となっています。

当日まで共に準備を進めてくださったサポートメンバーの先生方へ、心より感謝申し上げます。

まだまだ見ぬ海外へ思いを馳せていたといいます。その夢の大きさを物語る出来事があります。先生は中学生の頃、たった一人で東京へ向かい、東京商船大学を訪ねました。将来船長になるための道を直接聞くためです。しかし帰りの上野駅でホームが分からなくなり、所持金も少なかったことから駅員に保護され、迎えが来るまで児童相談所で2日間過ごすことになったそうです。

当時の児童相談所は戦後からまだ10年ほどだったこともあり、両親が戦死した身よりのない子どもや、極度の貧困家庭の子どもなどがそこにいました。先生はその子たちに面白い話をして楽しく遊んであげたそうです。帰るときには「お兄ちゃん帰らないで」と泣き叫ぶ子もいたとか。

さて、無事帰宅したもの、ご両親は船乗りになることに強く反対されました。母方の大導寺家は弘前大学病院の創設にも関わる家系で、ご両親は先生を医師にしたいと願っていたのです。日赤病院の医師を家庭教師に招き、ドイツ語や医学まで学ばせるほどの熱心さでした。それでも海外への憧れは消えませんでした。東北大学医学部に合格する学力を持ちながら、同時に合格した早稲田大学への進学を決意。反対を押し切つて家を出て、卒業後は記者となり海外へ羽ばたきました。

先生の人生は、諦めなければ夢は形を変えて実現することを教えてくれます。夢を持ち続ける心こそ、人生を切り開く力なのです。

占い入門

多種多様な占いでも、主に3つに分類されます。それぞれの特徴を理解して使い分けましょう。

占いにはさまざまな種類がありますが、古来より大きく「命（めい）」「ト（ぼく）」「相（そう）」の3つに分類されてきました。

「命」 生年月日から占う

「命」は、生年月日など変わらない情報をもとに、性格や運命の流れを読み解く占術です。四柱推命や九星気学などが代表的で、人生の設計や自己理解に役立ちます。

「ト」 偶然出た象徴から占う

「ト」は偶然性を使い、今この瞬間の答えを導く占いです。古代中国の亀甲占いに由来します。タロットや易などがあり、悩みや選択に対して具体的な指針を示します。

「相」 形から占う

「相」は手相や人相、家相のように、目に見える形から運勢を判断します。現状を映し出し、努力によって運を変えていけるため、日常生活に取り入れやすいのも魅力です。

このように、「命」は変わらない本質や流れ、「ト」は今この瞬間の選択、「相」は現在の状態と改善可能性を示しています。3つの占術はそれぞれ役割が異なり、優劣ではなく補い合う関係にあります。たとえば、命術で人生の大きな流れを把握し、ト術で具体的な判断を行い、相術で日常的に運気を整えるといった活用もできます。占いを活用する第一歩として、ぜひ覚えておきたい基本です。

皓導流は、この「命・ト・相」を組み合わせ、多角的に占うのが特徴です。

直弟子 林美姫

易占に導かれて17

易占卦第五十六番

火山旅

（旅の戒め）



明日のための回り道。生きている限り失意・不遇の時期は確実に到来する。いかに忌々しく理不尽でもただ耐えるしかない。どうやり過ごして早く抜け出すか、自身の真価が試される時。然るに、山のような不動と火のような明晰さ、それさえ無くさなければ何も案ずることはない。

占ってこの卦を得たなら、先は長い、しかも孤独を感じながら進まざるを得ず、思い通りに事が運ばない場面が続く、と覚悟をしなければなりません。特に変爻に因る之卦（例えば雷山小過の上爻）として得た時は、難しいことが多くて意のままにならず、焦れば焦るほど危険が余計に迫る、という事態に陥ってしまうこともあるとか。

では、どう対処すべきなのか。寧ろ「成り行き任せ」と腹を括ってしまうのが良いようです。他人をあてにせず、いつそのこと「孤独を楽しむ」と割り切ってしまうのも良いかもしれません。暫し独りになってじっくり内省をしましょう。やがて、自分は何がでなくて何ができるのか、信頼すべきは誰なのか、避けるべきは誰なのか、人間関係の刷新が見えてくるでしょう。そうすれば、おのずと「真の仲間」に巡り合えるはずです。まさに、回り道をして山に登り、自ら光明を見出した、となるでしょう。密教に所謂「自灯明」に値するのではないでしょうか。偶然に光が差し出す、なんて本当はあり得ない、のならば、自らが光になる道を進みましょう。

台掌礼拝 弟子 野村榮仙

中村妙恭のタロットエッセイ

タロットの源流を訪ねて 熊本に息づく「うんすんカルタ」の謎



今号は、タロットカードの意外な「日本での足跡」についてお話ししたいと思います。皆さまは、熊本県人吉市に伝わる「うんすんカルタ」をご存知でしょうか。そのルーツは室町時代、ポルトガルの船乗りたちが持ち込んだカードゲームにあります。当時、そのカードを使った賭博が流行したため、幕府によって一度は禁止されました。しかし、日本人はそれを独自に改良し、江戸時代に「うんすんカルタ」として再生させたのです。

以前、私が熊本の資料館からカルタを取り寄せた際、電話口で職業を尋ねられました。「占い師です」と答えると、担当の方は「ああ、やっぱりね」と。実は、当時のポルトガル人が手にしていたカードは、現在のタロットカードの「小アルカナ」と驚くほど似ているのです。全国から「タロットとの関係」を求めて問い合わせる占い師は少なくないそうです。資料館の方は「歴史的な真実はまだ謎のまま」とおっしゃっていましたが、カードの絵柄を眺めると、海を越えて伝わった運命の糸を感じずにはいられません。遠い熊本の地で今も大会が開かれているこのカルタに、私たちはタロットの遠い親戚を見ているのかもしれない。

RENのモノ、コト！

占い蓮の日常や、天然石、スピリチュアルアイテムをご紹介します。特別な日のためのものも、何気ない日常で心を整えるためのものも。あなたの暮らしに、穏やかな時間が流れますように。



心願成就のお守り 600円

20周年を記念して作ったお守り。現在も「心願成就」のお守りとして継続販売中。魂入れした経が収められており、皆さまが胸に抱くどんな願いにも、この蓮の花が静かに寄り添います。大きな目標から日々の小さな祈りまで、持ち主の方の想いを全肯定し、成就への歩みを支えるお守りです。

占い蓮 愛の相談室

コロナの後遺症で苦しんでいます。(50代・水色♥)
コロナの後遺症で気道が荒れていると言われました。今後が不安。

上北礼美のお答え

初めまして水色♥さん。コロナの後遺症が強く出ているようですね。持病の喘息があるので特に大変だと思います。水色♥さんの生年月日を見ると、今年は今までの努力が「実り」となって返ってくる年です。元々、努力を厭わないまじめな方。医師の指示を守ってきちんと治療を続けていらっしゃるの間違いなく治療の成果は出てきているはずです。

今年の吉方は南西と東。セカンドオピニオンとして吉方

今回の回答者
上北礼美
(かみきたれいみ)
皓導流直弟子、
東洋医学博士、
神霊学士国際認定者



の「上咽頭炎の治療に力を入れている医療機関」を探してみてもいいでしょうか？ 東は特に変化を味方に付けることが出来そうです。

今年は実りの年であるので、周りに何かと頼りにされ忙しくなりそうですね。頑張り過ぎずにご自分の健康を第一に考えて、一呼吸おいて行動してください。もう少し時間がかかるかもしれませんが焦らず治療を続けてください。

水色♥さんが本来の健康を取り戻せますよう心からお祈り申し上げます。

直弟子 紀村導佑

この法話 7

紫陽花が教えてくれたこと



6月になると、雨の中で静かに咲く紫陽花の花を見かけます。占いの連がかった吉祥寺にあった頃、梅雨の時期になると店の入口の花壇には青や紫の紫陽花が咲き、訪れる皆さまの目を楽しませてくれたものでした。

この紫陽花には仏教の大切な教えにつながる特徴があります。それは、咲く場所の土によって花の色が変わること。同じ紫陽花でも、土が違えば色が変わります。その時の状況に応じて、それぞれが美しく咲いている姿、これはまるで人の人生のようです。人もまた、どのような場所に身を置き、どのような人に出会い、どのような教えに触れるかという「縁」によって大きく変わっていきます。仏教では、人は縁によって生かされていると説きます。

もし今、自分に自信が持てないとしても、それは能力がないからではなく、まだ良い縁に出会っていないだけかもしれません。良い環境に身を置けば、人は自然と心が整い成長していきます。向上したければ志ある人のそばにいます。そして自分自身も誰かにとって良い縁となる生き方を心がけること。その積み重ねが人生という花を美しく咲かせるのです。

心模様が晴れる日もあれば、曇りや激しい雷雨に見舞われる日もあります。それでも、そんな雨の中でも静かに咲く紫陽花は、どんな天気にも抗うことなく、与えられた場所で精一杯咲くことの尊さを、私たちに教えてくれているのかもしれない。

真言宗阿闍梨 中村妙恭